

現場からの 「森林・林業 再生プラン」

「10年後の木材自給率50%以上」をめざして、
4月から国の「森林・林業再生プラン」が本格始動する。
だがこのプランの前提は、多くの山林所有者が不在地主化し、
地元の所有者も山をあきらめているということ。
一方で、高知県で2007年に始まった、山をあきらめていない
地元の所有者による「現場からの再生プラン」が、
今、全国に広がっている。

高知県のいの町の吾北生産森林組
合で間伐研修中の野尻萌生さん
と、組合長の安藤忠広さん
写真=高木あつ子